

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街						
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実						
施策の基本方針								
<p>未来を担う子どもたちが、健やかに夢や希望を持って育つ環境づくりを進めるため、札幌らしい学校教育や子どもの社会参加を積極的に進めるとともに、ひきこもりやニートの若者の社会的自立を支援します。また、子どもと家庭の相談窓口の充実や、不登校の子ども状況に応じた支援を行うほか、民間と積極的に連携して、子どもの育ちや学びを支える環境を整えます。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進								
	札幌らしい特色ある学校教育推進事業	36,000	6,499	7,720			14,219	39.5
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	5,000	506	1,300			1,806	36.1
	子どもの読書活動サポート事業	13,000	2,667	3,600			6,267	48.2
	図書資源ネットワーク事業	46,000	2,571	6,600			9,171	19.9
	幼児絵本ネットワークセンター事業	9,900	5,991	1,000			6,991	70.6
	子ども読書チャレンジプロジェクト	28,000	6,908	7,000			13,908	49.7
	市立中高一貫教育校の設置	3,919,000	8,190	136,000			144,190	3.7
	人権教育推進事業	8,000	2,000	2,000			4,000	50.0
	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	180,000	18,000	36,000			54,000	30.0
	職業観育成事業【再掲】	20,000	2,980	5,000			7,980	39.9
施策2 健やかな育ちの推進								
	心のサポーター配置モデル事業	212,000	0	22,000			22,000	10.4
	スクールカウンセラー活用事業	60,000	10,246	12,608			22,854	38.1
	スクールソーシャルワーカー活用事業	14,000	2,092	3,138			5,230	37.4
	教育支援センターの設置	44,000	0	2,500			2,500	5.7
	子どもの学びの環境づくり	55,000	540	16,000			16,540	30.1
	一人一人が学び育つための教育的支援の充実	83,000	11,823	18,024			29,847	36.0
	子ども安心ホットラインの設置	42,000	5,545	10,300			15,845	37.7
	オレンジリボン協力員制度の創設	6,000	0	1,000			1,000	16.7
	区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化	9,000	0	4,200			4,200	46.7
	一時保護所の定員拡充・環境改善	387,000	0	3,900			3,900	1.0
	施設に入所している子への学習・就労支援	13,000	178	5,600			5,778	44.4
	家庭的な養育環境の整備	431,000	14,289	8,000			22,289	5.2

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
計 画 事 業 費 の 執 行 状 況							
施策 番号	事 業 名	計 画 事 業 費	事 業 費 (単位:千円)				進捗率 (%)
			23年度 (決算)	24年度 (予算)	25年度 (予算)	26年度 (予算)	
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり							
	子どもの権利の推進	30,000	7,204	6,345			13,549 45.2
	児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援	6,000	0	1,000			1,000 16.7
	ミニ児童会館等の新設【再掲】	535,000	66,232	197,500			263,732 49.3
	プレーパーク推進事業	12,000	2,433	3,000			5,433 45.3
	子ども学習農園の新設	55,000	0	2,400			2,400 4.4
	地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】	6,000	1,231	1,500			2,731 45.5
	Kitaraファーストコンサートの実施	92,000	23,223	22,062			45,285 49.2
	子どものミュージカル鑑賞事業の拡充	2,000	0	0			0 0.0
	子どもの美術体験事業の拡充	10,000	2,500	2,375			4,875 48.8
	青少年科学館展示物整備事業	160,000	39,900	0			39,900 24.9
	ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業	103,000	30,046	48,200			78,246 76.0
合 計		6,631,900	273,794	597,872	0	0	871,666 13.1

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	【図書資源ネットワーク事業】減:事業開始初年度であり、年間貸出冊数が当初見込みより下回ったため。
24年度	【青少年科学館展示物整備事業】減:25年度に耐震改修により休館予定であることから、24年度には展示物整備を行わず、25年度に2年分をまとめて整備するため。
4年間を通して	

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街				
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進						
札幌らしい特色ある学校教育推進事業						
1	農業体験を実施した小中学校数	10校	20校			30校
さっぽろ学校給食フードリサイクル						
2	リサイクル堆肥を活用して栽培活動に取り組む学校数	74校	95校			202校
子どもの読書活動サポート事業						
3	学校図書館ボランティアの派遣校数	中学校92校	小中学校185校			小中学校185校
図書資源ネットワーク事業						
4	年間貸出冊数	－	845冊			30,000冊
幼児絵本ネットワークセンター事業						
5	絵本貸出冊数	－	921冊			6,000冊
子ども読書チャレンジプロジェクト						
6	幼児・児童1人あたりの年間児童書貸出冊数	10.4冊	11.0冊			13.0冊
市立中高一貫教育校の設置						
7	中高一貫教育校設置	－	準備			校舎竣工 (H27.4.1開校)
人権教育推進事業						
8	人権教育に関わる体験的な学習の実施校	85校	95校			120校
国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)						
9	ALTの配置数	58人	63人			78人
職業観育成事業【再掲】						
10	疑似体験プログラムを実施したクラス数	－	10クラス			18クラス

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 健やかな育ちの推進							
心のサポーター配置モデル事業							
11	心のサポーターの配置校	—	—				107校
スクールカウンセラー活用事業							
12	小学校への配置時間数	36時間	45時間				54時間
スクールソーシャルワーカー活用事業							
13	スクールソーシャルワーカーの配置数	3人	5人				8人
教育支援センターの設置							
14	教育支援センターの設置数	—	—				2カ所
子どもの学びの環境づくり							
15	フリースクール等に対する支援のしくみの創設	—	検討中				制度創設 (H24)
一人一人が学び育つための教育的支援の充実							
16	特別支援教育支援員の活用校数	230校	243校				303校
子ども安心ホットラインの設置							
17	児童相談所における24時間365日の相談受付体制の整備	—	整備				整備 (H23)
オレンジリボン協力員制度の創設							
18	オレンジリボン協力員登録数	8,952人	9,827人				13,000人
区家庭児童相談室の設置および区役所と児童相談所の連携強化							
19	家庭児童相談室の設置	—	10区				10区 (23年度)
一時保護所の定員拡充・環境改善							
20	一時保護所の定員拡充	36人	36人				50人
施設に入所している子への学習・就労支援							
21	登録ボランティア数	—	19人				80人
22	就職希望者の内定率の向上	54.5%	54.5%				80%
家庭的な養育環境の整備							
23	ファミリーホームの設置箇所数	3カ所	4カ所				5カ所
24	児童養護施設の改築(ケア単位の小規模化)	—	—				1カ所

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり							
子どもの権利の推進							
25	子どもサポーター養成講座受講者数	47人	104人				80人
26	子どもの権利推進アドバイザー派遣回数	9回	10回				24回
児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会の活動支援							
27	子ども運営委員会事業参加延べ人数	37,706人	40,768人				47,000人
ミニ児童会館等の新設【再掲】							
28	放課後の居場所のある小学校校区数	164校区	169校区				202校区
プレーパーク推進事業							
29	プレーパーク開催回数	—	年57回				年100回
子ども学習農園の新設							
30	体験農園利用学校数	20校	20校				25校
地域を支える子ども・企業連携事業【再掲】							
31	子ども一日まちセン所長数(累計)	—	18人				40人
32	地域と連携するコンビニ店舗数	—	164店舗				40店舗
Kitaraファーストコンサートの実施							
33	児童の参加率	96.3%	95.9%				現状維持
子どものミュージカル鑑賞事業の拡充							
34	希望した児童の鑑賞者の割合	91.9%	91.1%				100%
子どもの美術体験事業の拡充							
35	おとどけアート事業実施校数	3校	3校				現状維持
36	ハロー！ミュージアム事業実施校数	82校	160校				202校
青少年科学館展示物整備事業							
37	観覧者数	358,112人	373,619人				400,000人
ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業							
38	若者支援総合センターの移転整備	—	移転先及びレイアウトの決定				整備 (24年度)
39	若者支援総合センターにおける相談件数	2,706件	3,082件				4,500件

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街					
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)	
市民意識・行動指標							
9	学校で好きな授業があるという子どもの割合	87.4% (22年度)	93.0% (23年度)				95% (26年度)
札幌らしい特色ある学校教育や学ぶ力の育成に向けた様々な取り組みが進んでいることが、数値の上昇をもたらしたと考えられる。							
10	子どもが自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると思う人の割合	子ども 42.4% 大人 55.4% (21年度)	子ども 60.9% 大人 57.3% (23年度)				子ども 60% 大人 60% (26年度)
(検討中)							
11	自分のことが好きだと思う子どもの割合	53.2% (21年度)	60.3% (23年度)				70% (26年度)
市の各部局で実施している「子どもを対象とした事業」が進んでいることが、数値の上昇をもたらしたと考えられる。							
12	特別な配慮を要する子どもの支援体制が整っていると思う人の割合	41.8% (22年度)	34.3% (23年度)				60% (26年度)
(検討中)							
13	子どもの権利が守られていると思う人の割合	子ども 48.3% 大人 48.4% (21年度)	子ども 65.7% 大人 43.5% (23年度)				子ども 60% 大人 60% (26年度)
(検討中)							
社会成果指標							
14	学習や特別活動等で保護者や地域の人材等を活用している学校の割合	83.9% (22年度)	86.6% (23年度)				100% (26年度)
「雪」「環境」「読書」をはじめ、札幌らしい特色ある学校教育の推進によって、保護者や地域と連携した取り組みを一層充実したことが、数値の上昇をもたらしたものと考えられる。							
15	不登校児童・生徒の出現率	1.23% (22年度)	1.24% (23年度)				1.10%未満 (26年度)
中学校では微減であったものの、小学校では微増である。出現要因が複雑多岐にわたっており、子ども一人一人の状況に応じたよりきめ細かな対応を図る必要があると考える。							
16	児童虐待受付処理件数	478件 (22年度)	437件 (23年度)				430件 (26年度)
(検討中)							
17	困難を有する若者が自立に向けて支援機関を利用し、職業訓練への参加や進路決定した割合	45% (22年度)	49.1% (23年度)				55% (26年度)
札幌市子ども・若者支援地域協議会の設置をきっかけとして、困難を有する若者を支援する各機関の連携・協力が深まり、適切な支援機関につなげるなどのきめ細かな支援により、進路決定者数の増加につながっているものと考えられる。							

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	学びの意欲を育てる学校教育の推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
環境ウィークや農業体験など札幌らしい特色のある学校教育を推進。	小学校95校へのリサイクル堆肥の提供。	
全校へ図書館ボランティアを派遣。	大型絵本などを幼稚園に貸し出すシステムを構築。	
読書活動推進イベントや家庭読書フェスティバルを開催。	中高一貫教育校の基本計画策定。	
8校の研究推進校による人権教育の実践的研究を実施。	外国人指導助手(ALT)を5名増員配置。	
24年度の主な取組内容(予定)		
特色ある学校教育を引き続き推進し、農業体験の対象校を30校に増加。	小学校145校へのリサイクル堆肥の提供。	
読書活動推進イベントや家庭読書フェスティバルを引き続き開催。	中高一貫教育校の基本・実施設計。	
20校の研究推進校による人権教育の実践的研究を実施。	外国人指導助手(ALT)を5名増員配置。	
施策への貢献及び成果指標さつぼろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【札幌らしい特色ある学校教育推進事業】環境教育に係る学習活動や農業体験、学校・地域の特色を活かした取組の支援により、各学校において、体験的な活動による学習への動機付けが可能となり、学校で好きな授業があるという児童生徒の割合の増加に貢献している。		
【子ども読書チャレンジプロジェクト】子どもの発育段階に応じた体験事業やイベントを実施することで、子どもが読書するきっかけとなり、家庭や学校での活動につながっている。		
施策への貢献及び成果指標さつぼろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【市立中高一貫教育校の設置】設置する中高一貫教育校においては、実験、観察やいわゆる「ほんもの」に触れる体験を重視し、生徒の興味関心を引き出すことや生徒一人一人の長所や個性を発見して伸ばしていくことを目指していく。		
【人権教育推進事業】研究推進校によるさまざまな人材の活用事例を各幼稚園・学校に普及啓発することにより、子どもたちが体験的に人権について学習できる環境づくりを推進していく。		
施策2	健やかな育ちの推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を9時間増。	スクールソーシャルワーカーの配置を2名増。	
フリースクール等支援のあり方検討。	特別支援教育支援員を243校に配置。	
専門の電話相談員による「子ども安心ホットライン」を開設。	オレンジリボン地域協力員制度創設。	
10区に家庭児童相談室を設置。	児童養護施設への「スタディメイト」の派遣を開始。	
「ファミリーホーム」を1カ所開設。		
24年度の主な取組内容(予定)		
心のサポーターの配置を開始(小学校2名、中学校20名)。	小学校へのスクールカウンセラーの配置時間を3時間増。	
スクールソーシャルワーカーの配置を1名増。	教育支援センター設置に向けた制度設計。	
フリースクール等民間施設事業費補助制度を創設。	特別支援教育支援員を275校に配置。	
一時保護所・児童福祉総合センター改修の基本・実施設計。	児童養護施設への「就労支援コーディネーター」の派遣を開始。	
「ファミリーホーム」を1カ所開設。		
施策への貢献及び成果指標さつぼろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【スクールカウンセラー活用事業】不登校傾向の子どもやその保護者と早期から面談する等の対応を進めることで、学校の相談支援体制充実に貢献している。		
【子どもの安心ホットラインの設置】既存の相談窓口に加え、「子ども安心ホットライン」を開設することで、児童虐待への対応の充実を図っている。		
施策への貢献及び成果指標さつぼろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【心のサポーター配置モデル事業】学校における不登校児童生徒への対応として、教室以外の別室で過ごす子どもへの支援や日中の家庭訪問、関係機関との連携を進めるため、一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を進めていく。		
【子どもの学びの環境づくり】24年5月にフリースクール等への補助制度を創設したことから、制度活用による体験機会や支援体制の充実などが図られることで、不登校児童生徒の学びの環境づくりにつなげていく。		

政策目標	1	子どもの笑顔があふれる街
重点課題	2	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策3	子どもの権利の推進と自立を支援する環境づくり	
23年度の主な取組内容(実績)		
ミニ児童会館4か所、放課後子ども館2か所の整備。	プレーパークを57回開催し、延べ2,277人が参加。	
ギターファースト・コンサート事業への補助し、15,210人の児童が鑑賞。	小学校にアーティストを派遣し、直接触れ合うことができる「おとどけアート事業」を実施し、3校1,035人の児童が参加。	
市内小学5年生を対象に芸術の森美術館へ招待する「ハロー！ミュージアム事業」を実施し、160校11,671人の児童が参加。	青少年科学館に「雪・氷をテーマにした展示物」を設置。	
24年度の主な取組内容(予定)		
ミニ児童会館10か所の整備。	プレーパークの実施団体に引き続き補助。	
子ども学習農園(食育広場含む)の基本・実施設計。	ギターファースト・コンサート事業への補助し、15,122人の児童が鑑賞予定。	
「おとどけアート事業」を3校に実施。	「ハロー！ミュージアム事業」を180校に実施。	
若者支援総合センターの移転整備。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【プレーパーク推進事業】プレーパークの実施を通じて、子どもの自主性や創造性、協調性が育まれており、事業の担い手である実施団体との意見交換の中でも、一定の評価が確認できている。</p> <p>【Kitaraファーストコンサートの実施】全小学校の6年生が「ギター」でコンサートを鑑賞することで、公演鑑賞のマナーを習得するとともに、子どもたちが感性豊かな人間となり、文化芸術に対する創造性を育むことに繋がった。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【子ども学習農園の新設】子ども学習農園の計画・設計に子どもの意見を取り入れるように工夫し、食農教育の実践はもとより、子どもが自然、社会、文化などを体験しやすい環境できる場としての整備を目指す。</p> <p>【ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業】困難を有する若者の社会的自立を支援するため、移転整備する「若者支援総合センター」を中核として、関係機関及び企業、地域等との連携を深め、効果的な支援のあり方を検討、実践していく。</p>		
協働の状況		
【札幌らしい特色ある学校教育推進事業】農業体験を受け入れる農家について、これまで実施している農家の紹介や近郊の自治体、JA等と連携を図り、受け入れ先を開拓している。		
【市立中高一貫教育校の設置】新校舎の配置計画案や教室配置案が整理された段階で適宜住民説明会を実施するとともに、ホームページを活用し広く意見を募るなど、市民参加の場を設けた。		
【子どもの学びの環境づくり】制度の検討にあたって、フリースクール等民間施設に対し、アンケートを実施したほか、施設関係者を含めた不登校対策関係機関の連携を図る懇話会を実施。		
【ひきこもりやニートなど困難を有する若者の社会的自立支援事業】困難を有する若者の支援に関する情報を広く市民へ発信するとともに、地域のまちづくりへと若者をつなげていく取り組みにより、市民、企業と若者との連携拡大を図っていく。		